

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 特発性慢性線維化性間質性肺炎における進行性線維化性肺疾患の頻度、急性増悪率、肺癌合併率、予後についての臨床的検討

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 山本貴道

[研究責任者] 横村光司 (呼吸器内科・医師)

[研究の概要]

■ 目的・方法 (研究期間も含む)

研究期間：2023年8月30日～2028年6月30日

聖隷三方原病院では、「特発性間質性肺炎の診断・治療および予後における多面的検討〔研究番号14-35〕」に参加いただいた患者様を対象とした以下の追加検討を実施しております。研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

特発性間質性肺炎の中には難治性と言われている特発性肺線維症から、治療に対する反応がよく軽快しやすいタイプの他の間質性肺炎など、様々な疾病が含まれています。特発性肺線維症の中にも進行しない例や特発性肺線維症以外の間質性肺炎においても難治性であったり、急に進行したり、肺がんを合併する例もあります。「特発性慢性線維化性間質性肺炎における進行性線維化性肺疾患の頻度、急性増悪率、肺癌合併率、予後についての臨床的検討」においては、上記の臨床研究にて得られたデータを用いて、特発性肺線維症と特発性肺線維症以外の特発性間質性肺炎において、進行する症例の頻度、急性増悪が起こる頻度、肺がんを合併する頻度、治療薬に対する反応性などを比較検討します。この研究によって特発性肺線維症以外の特発性間質性肺炎における進行、急性増悪、肺がん合併の頻度や治療薬に対する反応性が明らかになれば、特発性間質性肺炎の診療を行う上で有益な情報となる可能性が期待されます。患者様御自身の診療録(検査結果や治療経過など)をこの研究に使用することに同意されない方は、以下のお問い合わせ先までお申し出ください。同意されなかった場合において、今後の診療において不利益を被ることはあり得ませんので、ご安心ください。

■ 対象となる患者さん

聖隷三方原病院において既に承認・実施された多施設共同コホート研究「特発性間質性肺炎の診断・治療および予後における多面的研究〔研究番号14-35〕」に登録された患者さ

ん

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：検査結果、治療経過（進行や急性増悪の有無、肺がん合併の有無、抗線維化薬治療の有無等、転帰）等

■ 外部への試料・情報の提供

研究代表施設へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。共同研究機関に提供される情報に関し、匿名化した状態で送付されるため、個人を特定できる情報は提供されません。当院が管理する試料・情報・作成した対応表については施錠された場所において適切に管理されます。

■ 研究組織

【研究代表施設】

浜松労災病院呼吸器内科 豊嶋幹生

【共同研究施設】

浜松医科大学呼吸器内科 須田隆文・榎本紀之

独立行政法人国立医療機構呼吸器科 白井正浩

磐田市立総合病院呼吸器内科 妹川史朗

静岡市立清水病院呼吸器内科 増田昌文

静岡県立総合病院呼吸器内科 白井敏博

静岡市立静岡病院呼吸器内科 山田孝

浜松赤十字病院呼吸器内科 佐藤雅樹

藤枝市立総合病院呼吸器内科 小清水直樹

聖隷三方原病院呼吸器内科 横村光司

聖隷浜松病院呼吸器内科 橋本大

静岡赤十字病院呼吸器科 松田宏幸

JA静岡厚生連遠州病院内科 貝田勇介

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

横村光司、呼吸器内科

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971